



# 朝一小だより

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



活気があふれ、心が躍り、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

朝霞市立朝霞第一小学校

令和6年8月29日

児童数 586名



## 今日という一日は、明日という日の二日分の値打ちがある

校長 金子 二郎

2学期が始まりました。多くの児童が「あっという間に夏休みが終わってしまった」と感じているようです。特に今年は猛暑、災害とオリンピックが話題となり、連日の報道のせいか、私自身も時間が経つのが例年以上に速かったと感じています。パリでの2週間余りのアスリートの活躍が多くの感動を呼びました。ただ、時間の経過が速いのは、あながち豊富な話題のためだけではなく、私の知り合い



の中には、テレビドラマを2倍速で見るものもありますが、「コスパ」や「タイパ」が特別なものではなくなりつつあるようです。脳科学者の西剛志さんは以前、次のように話していました。

「タイパには短時間で大量に情報を取り入れることができるというメリットはある。ただし大人はよいかも知れないけど、子供がやってしまうとどうだろうか。創造性という意味では、時間を区切ると力を十分には発揮できないことがわかっている。創造性を発揮するためには、時間を短くし速い時間で考えると良いアイデアが出難いことがわかっている。大人でも『1分以内にこの商品名について良いアイデアを5つ出してください』

と言われたら、焦ってしまい脳がストレスを感じた状態になってリラックスできず難しい。アイデアを出すときには脳全体を使う必要がある、リラックスしている必要がある。肩の力が抜け、緊張していない状態がリラックスしている状態で、歩いている時とか入浴している時とか人と話している時とか、何気ないときに良いアイデアが浮かぶ。タイパでやってしまうと創造性は発達しにくい可能性があり、使い分けることが大事。読書も、速読するのもよいがじっくり読む時と使い分けるのがよい。情報収集能力を



つかさどる脳の部分と想像力をつかさどる脳の部分が違う。両方鍛えないとどちらかだけが偏った脳になる。脳の構造として、言われたことは100%できるが、それ以上はやらない人がいる。それは創造性を発揮できない状態ということ。これからはAIができてしまう。これからの時代はAIができないところをできる人が活躍する時代である。だからこそ、子育てにおいてはタイパもよいけど、他の所も養っておいた方がよい。AIと将来争うことになる。タイパ、タイパとはほどほどにしておいた方がよいのでは。」

ジャーネーの法則は誰にでも当てはまるものであり、望むと望まざるとに関わらず大人になれば誰でも時間を思うように使うのが難しくなります。猛暑が終わり、これからは何かにじっくり取り組むのによい季節になります。自身の判断に責任を持たせた上で周りが急かすことなくじっくりと子どもに任せ、何かに集中する時間を大切にすることが、一人一人の成長に大きな意味を持ってくるのかも知れません。



時というものは、それぞれの人間によって、それぞれの速さで走るものなのだよ (ウィリアム・ユエワズ P)